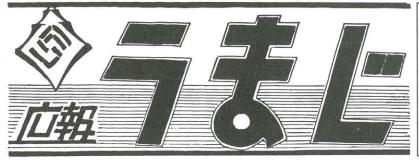
世 帯 12月末の人口 計女男数 九四八六人



昭和53年1月15 馬路村教育委員会 第六八号 安 芸 ΕŊ 日発行 刷

営林署統廃合絶対阻止(馬路村民会議)





新年のごあいさつ=== 迎え

ております。

!! !!

小松千歳 Ę

村民のみなさん、あけましてお

過ごすことができました。 協力により、比較的順調な一年を の被害もなく、村民の皆様方のご 難局に直面したのですが、幸せに た。又、村の行財政も且ってない 面で村民の生活をおびやかしまし この馬路村にかぶさり、あらゆる も、例年の如く襲って来る台風等 ますと、経済不況の波は容赦なく 過ぎ去った昨年を振り返って見

めでとうございます。

旧工事も殆ど完了することが出来 昭和五十年の台風被害による、復 画期的な事業もつぎつぎと完成し、 業所の新しい土地への移転完了等、 久木トンネルの完成、西川中川事 この間、馬路小学校の新築、

> 予想されます。 化したのもこの年でした。 るような、営林署の統廃合が表面 ました。反面、村の将来を左右す さて、新しい年を迎えました。 この経済不況は、尚続くことが

す厳しい線が打出される可能性を 含んでおります。 営林署の統廃合問題も、ますま

4) た、村民の皆さんの としております。ま 重要な年になると考 村にとって、極めて 十三年は、この馬路 中で迎えた、昭和五 至っております。 ますます複雑多岐に 村政に対する要望は 態を大きく変えよう の問題も、 のようにして打開し てゆくか、稲作転換 このような状況の 林業の現状を、ど 農家の形

く住みよ

とご協力によって美しい自然と えられます。 けれども、村民の皆様のご理解

議会議長

尾谷

災害をもたらした台風五号、六号 新春を迎えられ、心からお喜び申 しい緑の自然を取り戻して、兹に 協力によって困難をきり開き、美 の復旧事業も、全村民の連帯とご 年のご挨拶を申し上げます。 し上げます。 昭和五十年に、本村に未曽有の 輝かしい新春を寿ぎ、謹んで新

ます。 かってない難局に直面を致してい な不況に見舞われ、地方行財政も さて、 最近の日本経済は、深刻

重大な問題が生じました。 署統廃合」という、村有史以来の 顧みますと、本村は昨年「営林 この問題に対処して、議会とし

為に、努力して行きたいと決意し ますます明るく住みよい村にする 豊かな人情に囲まれたこの村を、 県議会、 ともに、 ては、国、

あいさつと致します。 お祈り申し上げまして、 して、幸せな年でありますよう、 昭和五十三年が、皆様にとりま 昭和五十三年一月一日 新年のご

収助村 入役役長

利 晴

す。 が阻止に全力を賭していく覚悟で れますが、議会としては、 もので、今後益々厳しさが予想さ 林署統廃合」の件ですが、馬路村 ります。 の任期に議員一丸となって、これ の、存亡の岐路にたたされている 最後に、 本年の重要課題は「営 後一年

事務局長

丸山

裕朗

申し上げて、新年の御挨拶と致し いっそう、御支援御協力をお願い をお祈り申し上げますとともに、 ここに、重ねて村民各位の万福

昭和五十三年元日

めて参りました。 情をし、馬路村の実情を訴えると 絶対阻止の運動を押し進 営林局署等関係機関へ陳 県、県選出国会議員、

解決を要する問題が 観光開発等、前途に も、人口の導入施設、 す。この件について 設が予定されていま 四年度にかけて、建 内示となりました。 事業」が大蔵省原案 域総合センター建設 ありました「過疎地 年の幕開けです。 数多く横たわってお 五十三年度、 本村の懸案事業で 昭和五十二 五十

支所長

萩野

産建課長 住民課長 企画課長 総務課長

俊秋 長康 光誼 郁穂 仁志

岡田 谷井 畠中 永吉 西尾晃一郎 小松

馬路保育園長 式部佐

由

里

他

役場職員一同

(魚梁瀬保育園長)

副議長 議 譲 員 長 0 門田 尾谷 \Diamond 利

枦山 浜田 尾谷 清岡 笹岡 井上洸士郎 美恵 守人 康喜 義行 武治 畠中 大野 高橋弥之助 尾谷 岡野 明男 住亀 利幸 盛 整 晴

教育委員 教育委員長 谷井 0 磨熙 0 柜山 中村 0 重信 逸男

教育長 職員 西野 同 真司

うり

馬路村議会事務局

月・十二月の議会活動は次のとお

七月・八月・九月・十月・十一

22日=国有林対策特別委員会(於 対策に対する陳情ほかにつ 高知営林局・国有林合理化 七 いて、営林局長 (陳情)

17日~19日=県町村議職連東部地 区ブロック研修会 北川村森林センター

月||

21 日 川 議長出席

- 中芸消防大会(馬路村開催

います。 に加入することになって んながどれかの年金制度 上の人は原則として、み わが国では、二十歳以

たときは障害年金が、不幸にし

ときは、母子年金が支給されま て夫を亡くし母子世帯となった 保障ばかりではなく、保険料さ

え納めておれば、障害者となっ

20歳になったら国民年金に加入しましょう その配偶者、昼間部の学 組合などどれかの年金制 度に加入している人や、 や船員保険、各種の共済 国民年金は、厚生年金

十九歳までのすべての人 生を除く、二十歳から五

五歳になれば、老齢年金により あります。そしてあなたが六十 す。このほか、遺族になった人 老後の生活が守られることにな 子年金、遺児年金、寡婦年金が に支給される年金として、準母

り年金が目減りすることがない 国民年金は、 物価の変動によ

が加入する年金制度です。

加入しますと、老後の

23 22日=総務常任委員会 日 安芸郡下町村議員研修会 産業建設常任委員会

30 日 川 ネルの件ほか) 平山県議と交渉(久木トン 議長、産業建設常任委員長 (奈半利町民会館

31 日 ~9月1日=昭和五十二年 九月 第六回馬路村議会定例会

2日=高知県下町村議会議長・常 局長出席 任委員長·事務局長研修会 議長、両常任委員長、 (於・高知会館・議長、副 事務

5日=馬路営林署長と談合 国有林対策特別委員長·事 (議長

7日=安芸広域市町村圏特別養護 務局長出席

9 8日=県町村議長会理事会 日=田野町老人福祉センター落 於於

13日 魚梁瀬公民館 議員全員協議会並びに電発 一又発電所と懇談会(於

日 日=馬路小学校々舎改築工事落 テル議長出席 前知事溝渕増己出版記念祝 賀会(於・高知市三翠園ホ 成式(議長ほか議員出席)

17

1 月

6日=林政懇談会(議長·副議長

引き上げられます。 今年四月から二千七百三十円に れられているため安心です。 れる、物価スライド制が採り入 に合わせて年金額が引き上げら よう物価の上昇 (年五%以上) 保険料は月二千二百円ですが

年金に加入し、保険料を納めま ることになります。 しょう。それが自分の生活を守 二十歳になったら、すぐ国民

を持って出向くだけで結構です。 役場住民課の国民年金係へ印 加入の手続きは簡単……。

老人ホーム組合議会定例会 (於・室戸市役所・議長出

成式(於・田野町・議長出 高知県自治会館・議長出席

16

31 日=昭和五十二年第八回馬路村 議会(定例会)

3 日 ~6日=国有林対策特別委員 の為上京(営林署統廃合の 会・県選出国会議員へ陳情

8 日=国有林対策特別委員会·高 知県議会産経委員会へ陳情

林対策特別委員長出席

林野庁ほか・議長、

路村民会議陳情書持参陳情

13 日 川 15 日

19 日 議会(臨時会) 国有林対策特別委員会 議員全員協議会

1日=国有林対策特別委員会・谷 ||十|月| 久木トンネル開通式 営林署統廃合の件・平山県 口県農林部副部長と懇談(

7日=国有林対策特別委員会 議員全員協議会

11 記念大会(於・松山市・議 13日=四国四県町村議会共 済地方自治法施行三十周年

16

H {

19日=第二十一回全国町村

議会議長大会

日=議員全員協議会 日=乾光秀氏知事表彰祝賀会

9

国有林対策特別委員会

営林署統廃合の件)

高知営林局長と談合 魚梁瀬・議長出席) 副議長、事務局長出席 於

21

日=山原健二郎衆議院議員へ陳

(於・東京・議長出席

情(議長、総務委員長、

産

県町田副知事・平山県議ほ 任委員長産建常任委員長 か行政視察(議長、総務常

昭和五十二年第七回馬路村

24日=就業改善センター起工式 22日=国有林対策特別委員会

経委員長出席)

平山県議・森田土木副部長

議長、産経委員長出席)

行政視察の為来村(議長、

25 日 ~ 正男衆議院議員へ陳情 野庁・県東京事務所・大西 29日=議長、平山県議と林 産経委員長出席

30日=平石磨作太郎衆議院議員へ 陳情(産建委員長・枦山議 林署統廃合の件

6日~7日=営林署統廃合阻止馬 日=総務常任委員会 || 十二月||

1

ご出産おめでとうございます

母

父

北

勇士郎

赤ちゃん 続柄 日

光 子 恵 美 二女 11 月 19 ヤナセ 部 落

文化祭」は、十一月二十六日・二 十七日の両日、 昭和五十二年度「第五回馬路村 今回文化祭のテーマとしては、 馬路体育館で行わ

、ふるさとを見なおそう、 例年通り、

らを中心として 身の 、県展作家、 馬路村の古い写 展」と題した、 めていたのが、 ときわ人気を集 れました。 数百点が展示さ 童、生徒の作品 作品のほか、児 般の書や洋日本 馬路村の風俗な 民に呼びかけ、 教育委員会で村 義道さんら村出 真集コーナー。 「思い出の記録 これは、清岡 なかでも、ひ 写真、手芸

回馬路村文化祭

ふるさとを見なおそ

5 清岡さん個人の ど古い写真を探 し集めたものと、

景など約百点で、大正時代から、 写真集の中から、 森林軌道華やかなころがつぶさに パネル張りに仕上げたものです。 村民の生活ぶり、交通機関や風 古い写真を複写

> 深く鑑賞していました。 写されており、村民の方々も感慨



んでいました。 名=によるワラ細工の実演も行わ と乾遊亀美さん(七十二才)=相 竹細工、清岡栄さん(七十八歳) 乾兼石さん(七十一歳) =影=の れ、誰もが興味深そうにのぞきこ 十二歳)=朝日出=による機織り、 また会場内では、伊吹安さん(九



品展示、即売もあり、特に、農協 の農林産物、特産の魚梁瀬杉工芸 このほか、シイタケ、ユズなど

> 即売コーナーも大入りでした。 婦人部による、ユズを利用しての 九日に魚梁瀬、二十日馬路におい づくり講習会を開催しました。十 日には、講師の先生を呼んで、菊 び蘭の展示会を公民館で行い、九 十日にかけては、菊花展、盆栽及 を馬路・魚梁瀬で行い、八日から 十一月二日に、巡回子供芸術劇場 て、子供映画劇場(愛犬物語他 でした。馬路婦人会による、食堂 "マドレーヌ、は、たいへん好評 主会場外での文化祭事業として



発表しました。 そして、営林署謡曲愛好グループ ラブによる「マンドリン発表会」 公民館で行い、日頃の練習成果を による謡曲「羽衣」をそれぞれ、 本舞踊発表会」と、マンドリンク 二十一日には若葉会による「日

ご入場ありがとうございました。 村民の皆様、多数の出品並びに

える者が、年々減少し り、村内で成人式を迎 盛大に行われました。

を、一月三日、 馬路村の記録映画「ふ 民館で行いました。 行っております成人式 の該当者全員を対象に 二十五名の出席があり、 てゆくなかで、今年は 当日は、式典のあと、 若者の対外流出によ 村出身者及び、村内

行いました。 の馬路村」をテーマに座談会を るさとの記録」を見て、 「私達

成長を遂げてゆくことと思いま 指導を受け、立派な成人として、 村民各位の祝福とあたたかい御 い経済社会の一員となります。 課せられ、過去に例のない厳し 多くの権利が与えられ、 二十歳になれば、成人として 、義務が

馬路公民館

図書案内

寄贈図書

長畑 岩城 馬路営林署 清岡 新刊図書 敬二 耕市 敏郎 火の鳥 生命の実相 血の来訪者 青い口紅 5巻 他175冊 40 巻 他6冊

ガンバレノベアーズ けないの 私は十三歳なぜママになってはい 宇宙戦艦ヤマト 火筒のひびき 妖雲いなずま車 草鹿 石津 山崎 近衛 正史 嵐 宏

お母さんは不思議な力がある なぞの転校生 リチャード ・ウッドリー 上坂 眉村 冬子 卓

> 魔家族 まちがい栄養学 ヒロシマの復讐 ルーツ(上)アレックス・ヘンリ 川島 左保 四郎

甲賀忍法江戸控 黄金の不死鳥 合衆国最後の日 土佐の笑いばなし ジェラール ド・ヴィリェ 五木 宮崎 荒巻 市原麟一 義雄 郎 惇

百億の昼と千億の夜 エーゲ海に捧ぐ 児童図書 ウォルター ・ウエイジャー 光瀬 池田満寿夫 龍

星に帰った少女 冬の夜ばなし ピエロをおっかけろ 詩のすきな中学生 鬼のうで 他93冊 松井 赤羽 末吉 篠山 斎藤 隆介 末吉 知義 孝子

馬路 魚梁瀬体育始め



新春マラソン

開催されました。 馬路、魚梁瀬地区の体育始めが、 豊かな心と健康づくり」のため、 年を迎えて、今年も「スポーツで 新春の始めに気分一新、新しい

ドにおいて、 前九時から、魚梁瀬中学校グラン 魚梁瀬地区では、一月二日、 恒例のソフトボール 午

教育長に

西野真司再任

選されました。 於いて、 を可決、二十日教育委員会に なる現教育長西野真司(四十 一十日をもって、任期満了と 歳)の教育委員任命同意案 十月十九日、臨時議会では 引き続き教育長に互

大会を行いました。

今年最初のソフトボールに興じて 一般約三十名が早朝より集まり

でマラソンを行いました。 後、年令、体力に応じた三コース 集まり、全員で準備体操を行った 中学生二十五名、一般八十名)が 百五十名(内、約小学生四十五名) 十時から、旧馬路小学校々庭に約 なお、魚梁瀬地区においては、 馬路地区では、一月三日、

ています。 を行った後、早朝マラソンを行っ 昨年からずっと、午前六時三十分 に公民館に集合して、ラジオ体操

多数のご参加下さいまして、本当 にありがとうございました。 年の始め、何かとお忙しいなか

野球部 等の報告がなされまし 会が行われ、試合結果 馬路体育会野球部の納 去る十二月十二日、

た。

馬路体育会 活躍 の大会においても熱戦 場を果たしたほか、ど 四国地区大会へ、初出 表として、高松宮賜杯 おおいに活躍しました。 馬路野球部は、県代

> 十一勝六敗二引き分けの好成績で ちなみに、公式試合の成績は、

します。 本年も、昨年以上の活躍を期待

すろう

交通道徳

事故を呼ぶ

酒が疲労が

(自転車乗り スピードが

あぶないよ

わき見無灯火

二人乗り

見るくせ待つくせ 止まるくせ

横断は

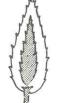
(歩行者



2日=馬路小学校運動会 | 10月|

5日=本年五月土佐山田町で行な われる全国植樹祭で、天皇 旧校舎お別れ会 り(魚梁瀬亀谷山 陛下お手まき用、杉の実採

31日=久木トンネル開通式 23日=馬路地区村民運動会 19日=臨時議会 16日=県民体育大会 10日=体育の日 9日=魚梁瀬小・中運動会 17日=馬路小給食室落成式 15日=魚梁瀬熊野神社神祭



博之君第三位入賞 =県民体育大会= (陸上百)

たしました。 岡博之君(二十四歳)は、陸上競 技青年男子百ぱに、三位入賞を果 十五回県民体育大会において、清 昨年十月十六日に行われた、第

技に清岡君が参加しました。 バレーボールーチームと、陸上競 馬路村では、県民体育大会に、

> 合でした。 市チームと対戦し、 はしましたが、大変白熱した好試 バレーボールは、 惜しくも敗れ 一回戦、

マークして三位に入賞しました。 て、本大会で十二秒一の好記録を は、日頃の練習成果を十分発揮し 陸上競技百以に出場した清岡君

2日=巡回子供芸術劇場 公民館結婚式(清岡·清岡

8日~10日=菊・盆栽・蘭展示会 3日=文化の日 4日=バトミントン教室(馬路)

12 日=書道教室(魚梁瀬 公民館結婚式(小松·櫛削

16日=馬路熊野神社奉納相撲大会 15日=馬路熊野神社神祭

24日=公民館結婚式 (東谷·尾原 23日=勤労感謝の日 21日=マンドリンクラブ発表会・ 魚梁瀬地区村民運動会 謡曲·日舞発表会

30日=公民館結婚式(小松·清岡 28日=馬路地区慰霊祭 26日~27日=馬路村文化祭(文化展 就業改善センター起工式

2日=営林署統廃合阻止馬路村民 12日=統廃合村民会議小委員高知 12 会議の発会式(馬路体育館 営林局へ陳情

31日=大晦日 21日~24日=定例議会 28日=御用納め

待ちに待った二つのトンネル 完 成

再三の通行止めや、

通行制限等で

ル」(高知県側二百三・三ば、 最終工事、「大木屋小石川トンネ ぶ、大幹線林道大木屋小石川線の

島県側百四十二以、

幅員五次)は

九月二十二日、両県の

関係者約七十人が出席

川谷両教頭が

が着任しました。 子先生 (二十四歲) 員として、中島恵利 務を代行し、 十七日付) が校長職 職務代理者として、 下司景正教頭(六月 ては、岡崎校長死亡 職に伴ない、校長 補充教

> が、産前休暇と病気休暇のため、 和教諭と野竹恵美子教諭の二人

> > しました。

ニティセンター

補充教員として、

竹内かな先生

校教職員の動向につ 馬路管内小・中学

馬路小学校におい

から着工、その間、 県営工事として、昭和四十八年 新久木トンネル ようやく開通 旧トンネルの

折久オトンネル ル開通 新クオト B. W. C. C. 10月31日開通式

> ます。 兼ねた七十五程が帰の側溝があり が、幅員七·五ぱで両側に歩道を 通式が行われました。 新久木トンネルは、 延長三百八

関係者約八十人の出席のもと、 が、十月三十一日ようやく完成、 住民に大変迷惑をかけていました

開

つけかえを待望されていたもので れたが、長年の使用に耐えきれず 工事に開通し、自動車道と改良さ つくられたものであり、電源開発 通したが、もともと森林軌道用に 幅員二・七ば)は、 旧トンネル(延長三百四十ぱ、 昭和三年に開

『大木屋小石川ト ンネル貫通』

は全線 見込みです。 年十一月末には全線完 貫通を祝いました。 末には完成の予定で、

二月末には全線開通の

を要し、総延長約十三 九日、起工式を行って 計
が
の
林道
の
完成
に
よ 以来、九年有余の年月 昭和四十三年十二月 沿線の治山治水、

観光、交通、 森林資源の流通促進はもとより、 乾盃する関係者 文化、経済など住民

幸先生(二十三歳)が着任し、

行し、補充教員として、樋口和

月十一日付)が校長職務を代

代理者として川谷義雄教頭 崎校長病気休職の為、校長職務

魚梁瀬中学校においても、

又馬路中学校においては、野村

すものと期待されています。 福祉の向上に、重要な影響を及ぼ

三歳)が着任しております。

(二十三歳)と南幸先生(二十

旧馬路小学校跡

本村と徳島県海南町大木屋を結

旧馬路小学校跡地利用

ので、鉄筋コンクリート 策事業として行われるも 農村地域工業導入特別対 起工式が、さる十一月一 れる就業改善センターの 費三千六百九十万七千円 万八千円(内、国庫補助 総事業費七千六百四十九 十四日に行われました。 一階建、六百十三平方以 就業改善センターは、

室など、七つの研修室を備え、冷 経営技術相談室、 控室を含む)のほか、農林業

温泉施設は近山山非茂地

就業改善セ 1

徳島県側も本年度

なお、

高知県側は昨

の第一弾として、建築さ 事務室、大会議室、

八十七・六二平方於(舞 他産業就業相談

報道されたとおり、本村にコミュ 府案が、このほど決定、新聞でも 昭和五十三年度、 ナジューティセンターが内定 国家予算の政

五十三・五十四の両年度に造成費 ざすもので、一応現在の構想では 住民福祉の向上、観光開発等をめ これは、中ノ川の冷泉を利用し おおよそ一億三千万円の

暖房施設完備

予定です。 各種会議、研修会等に使用できる 本年、中頃からは、 一般村民の

思い出をいつまでも (8)が撮影をします)

ます。) 〕 ルム代等実費(フィルム一本につ として、一時間につき千円。フィ き3分程度で約三千円をいただき 祭日等は除く。料金は撮影手数料 等の打ち合わせをして下さい。 事前に公民館まで申し込み、 やん誕生とか、お年寄の記録等の 撮影を行います。希望される方は 入しましたので、村民の方の赤ち 《原則として、土曜日、日曜日、 公民館では、 馬路公民館 8ミリ撮影機を購 日時

的なもの……。)の建設が内定 (地域総合センタ れております。 の他関係団体等の意見のとりまと これから国、 とですが……まだ内定の段階で 宿泊施設を備えた施設をというこ め、財源獲得等多くの難題が残さ 県との折衝、 議会そ

ています。 振興の起爆剤となればと期待され しかし、是非これが実現し、 村

部落に対する

=23=

あやまった考え方

三自自由と民権をもとめて

明治十年頃、

土佐の板垣退助な

全国におこりました。そのなかで いて部落の人びとの心に深くくい 分差別をなくする運動がむすびつ 自由と権利をもとめる運動と、身 どを中心にして自由民権の運動が

ざめ、人権をとりもどすことのた 響をあたえ、部落のなかからも、 落の人びとが人間であることにめ 遊らは、部落問題を深く考え、部 江兆民やその教えをうけた前田三 こんでいきました。なかでも、 この運動に参加するものがでてき いせつさをといたので、大きな影 中

広島控訴院で夫が妻に部落出身で れました。また明治二十二年には 各地で部落にたいする排撃が行わ 数十名の人びとを殺傷するなど 部落をおそい民家を焼打ちしたり みられるように、一般の人びとが も、群馬県の世良田村襲撃事件に 落を攻撃したりしました。なかで 落に対する誤まった偏見から、部 しかし一般国民のなかには、 部

> 解放への活動をはじめました。 平民会(明治二十二年)を結成し ない」とのよびかけをして、九州 に、部落民が団結しなければいけ を中心に「解放令の具体化のため にしながら、九州では福岡の部落 落の人びとは自由民権運動を背景 また岡山県においても、三好伊 このようなことにもまけず、部

加しました。この運動は全国的な がつくられ、高知県からも多数参 本同胞融和会」 動を行うことを目的とする「大日 阪において、全国的な部落改善運 こりました。そのあくる年には大 のなかから自主的な解放運動がお (明治三十五年) が生まれ、部落 (明治三十六年)

れましたが、 とする「高知県公道会」 し「同情融和」の政策を強くうち だし、大正三年に、半官半民の 人たちの自主的な自覚運動に着目 「帝国公道会」をつくりました。 いっぽう政府は、これら部落の 高知県においても、 かけ声だけの運動に 知事を会長 がつくら

られる差別裁判が行われました。

いけないとして、

妻の離婚が認め

あることをかくして結婚したのは

ると、 の動きのなかで、 うになるとともに、解放運動の胎 央集権的な政治体制の強まりなど 動もきえていきました。 また、きびしく取りしまられるよ などの自由もしだいにせばめられ のなかでつみとられ、言論、結社 日露戦争以後軍国主義の強化、 そして、自由民権運動の芽も、

平次らによって「備作平民会」

解放しようとする動きがあらわれ てきました。 部落の人びとを 上し時代にな いうな社会

健婦室

が、融和主義の運動にとどまり、 解放運動のさきがけとなりました

大衆的な部落解放運動として発展

することはできませんでした。

ら昭和五十二年の結核検診の結果 推進大会が馬路村で行われ馬路村 し好評を得たのですが、 高の82%にまでなったことを発表 診率が昭和五十一年には今迄の最 防婦人会の活動、又結核検診の受 の結核予防のとり組み方、 昨年九月には結核予防婦人会の 残念なが 結核予

100 -

%

76.9

43

核検診の受診率の推移を表わした は79%にとどまりました。 図Ⅰが過去十年間の馬路村の結

ものです。

期未検診者の皆検診」をかかげ検 度の目標の一つに「三年以上の長

結核予防婦人会の昭和五十二年

わかります。 よって受診率の差が大きいことが 825%、魚梁瀬が20%と魚梁瀬がや や低調です。 をみますと(図Ⅱ、図Ⅲ)馬路が 昭和五十二年の結核検診の結果 又魚梁瀬では地区に

になり、

図11)昭和五十三年度は皆 皆検診はできませんでし の長期未検診者を四名ふやすこと には昭和五十一年度より三年以上 診を実施してきましたが、結果的

受けるようにしたいものです。 が声をかけあって、全員が検診を

図Ⅱ 地区別受診率 馬 路 魚梁瀬 100-100.0 86. 2 85. 886. 9 81.8 76.5 71.7 55.6 49 50 51 52年 貯中事東事 木 務 務 場川所川所 朝日出 B 中の 影相東 丸 明

Л

浦

名 Ш めることはできませんでした。 おわり、部落の社会的低位性を高

図 I 馬路村結核検診受診率の推移

3.6

65.5

45 46 47 48

44

82.3

67.8

87.2

83.4

Ⅷ図 年令別受診率 魚梁瀬 路 馬 25.0 20才未満 70.2 20才代 52.4 90.5 30才代 92.3 40才代 84.1 85.2 50才 代 73.1 60才代 84.9 90.9 82.6 70才代 76.9 80.0 80才代 66.7 100.0 90才以上 50.0

ケリトはは冷念を受けていな

Ш 善

MIV 二年以	上結	修快	診を受け	(61%	7 ()			
	馬	路	魚梁瀬	合	計			
昭和51年	1	5人	15人	3	80人			
昭和52年	2	人	13人	34人				

唯江	道の辺に思はぬ瀧の現れぬ	鉄 野	うす衣の肌に冷たき滝しぶき		瀧	英夫	河鹿宿寒風山は指呼の間	琵琶子	河鹿の音冴えて瀬音の高まりぬ	浪江	河鹿鳴く父母住む里のはるかなり	勝子	行き過ぎて河鹿の声に歩を止むる	伊久	悔い心流す湯舟に河鹿笛	唯江	夕闇の河鹿の渓の深さかな	鉄 野	昔日の湖底の里やかじか鳴く	茂太郎	釣暮れて河鹿の沢を戻りけり	定功	苔むした岩場の陰の河鹿かな	智子	夕暮やダムの静けさかじか笛		河滩鹿	**	魚梁頼绯壇	プ芸材	で芸馴		Here and it is produced by the first transfer
鮎よりも釣り人多し安田川	保 寿	鮎とると朝早くから出でにけり	鉄 野	解禁の鮎に受難の一日かな	智 子	竿先に光る鮎かな安田川	浪 江	鮎ずしを好みし母に届けたく	勝子	鮎掛の去りたる川の暮れにけり		***	英夫	そのかみを偲ぶよすがや業場瀧	琵琶子	滝煌々天は真青に極まりて	風 子	どろどろと底鳴りありて滝近し	伊久	年古き岩間をけぶる滝一筋	智 子	滝しぶきか、りて仰ぎ息をのむ	幸男	滝音に案内の声の聞きとれず	勝子	滝茶屋の客にも馴れて餌付け猿	浪江	滝はげし虹のしぶきのか、やけり	小菊	瀧行の般若心経高らかに	定功	遠目には白糸なりや細身滝	保寿
保寿	朝顔の巻きつくつるに力あり	吉子	気持良く朝顔に伏す犬親子		"朝顏:	勝子	日盛りという静けさのありにけり	定功	日盛りや木陰で話題の花が咲き	伊久	日の盛り銀色のダム静もりて	浪江	パラソルの影濃き道や日の盛り	茂太郎	日盛りのほてりや月の出につづく	琵琶子	日盛りを点滴の瓶見つめおり	唯江	日盛りの農婦の顔のかげりかな	英 夫	一瞬の音みなとだへ日の盛り	鉄 野	唯一人聖堂に坐す日の盛り	幸男	出そびれて日盛り無為に過しけり		"日盛:	英夫	軒毎の鮎焼く煙や解禁日	琵琶子	鮎を焼く煙漂ふ峡の宿	風子	鮎のかげ走りし水の速さかな
所在なげ風に一本尾花かな	琵琶子	吹く風の流れのま、に芒かな	英夫	登り来し眉山々頂は枯尾花	唯江	芒野の大夕焼に向ひ佇つ	喜代子	秋雨にゆらぐす、きや清龍寺	茂太郎	芒野やいつしか老の散歩道	幸男	登り来て芒の彼方湖光る	浪江	す、きの穂師を待つ里に招き居り		***************************************	勝子	押花のあの日の朝顔咲く頃か	琵琶子	朝顔や小じんまりした美容院	英夫	朝顔のとりどりに比処は異郷の地	浪江	朝顔の明日咲くつぼみ数えけり	鉄 野	宿かりて紅朝顔の盛りなる	茂太郎	孫の綴る朝顔日記絵も入れて	伊久	朝顔や一時の間の色香かな	唯江		智子
		浪江	久方に孫等交へて秋祭	鉄野	太刀踊紙吹雪舞ふ秋祭	定功	秋祭鎮守の森にのぼり立ち	清	この子にも伝えて残す村祭	保寿	人々の顔ほころびて秋祭	智 子	旅人のふと足止むる村祭	吉子	月冴えて部落の祭静かなり	唯江	忘郷の想のはるか村祭	幸男	浦祭波に洗はる御興かな	勝子	師に長き文書く明日は里祭		"秋祭:	勝子	乱れぬはよき穂芒も言の葉も	吉子	穂すすきや病に倒れ小一年	保 寿	道端のす、きや波打ちバス通る	定功	芒の穂手折りながらの一句かな	伊久	くれないの夕日に白き尾花かな